



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市東総合スポーツセンター  
 試合区分：少年男子 1回戦  
 開催期日：2009年10月2日（金）  
 開始時間：15:15

GAME No. 1002F4

主審：大谷 英紀  
 副審：三好 啓太

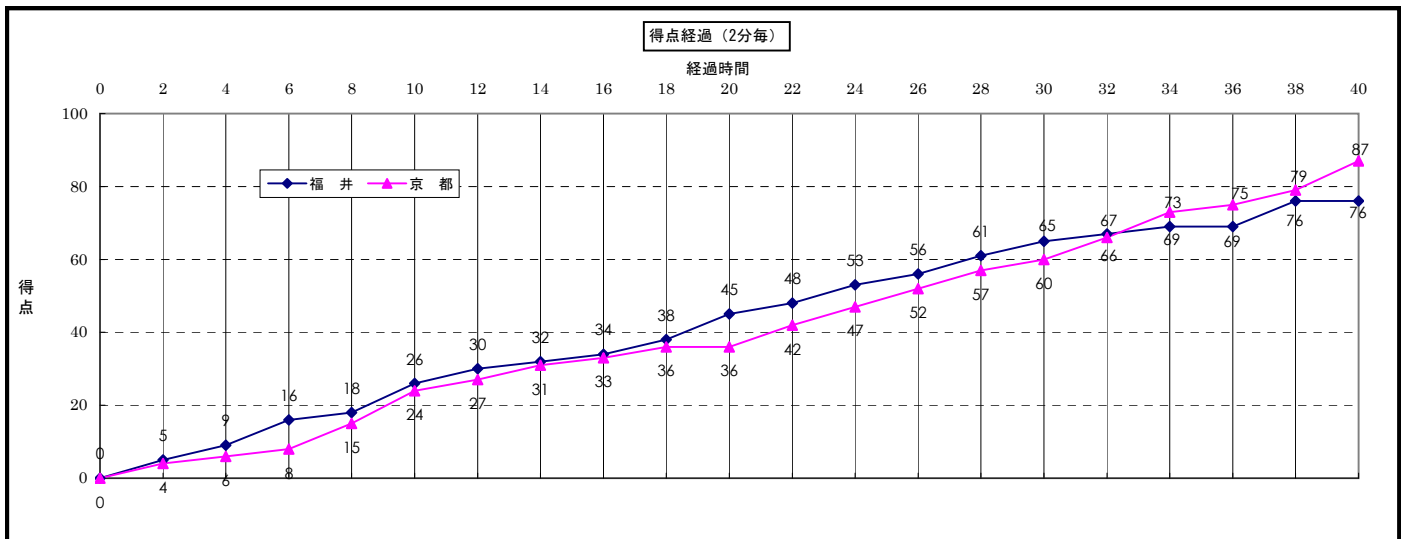
Team A	●	26 -1st- 24 19 -2nd- 12 20 -3rd- 24 11 -4th- 27	○	Team B
福井	76		87	京都

TEAM A		福井					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	占部 賢人	11	1	4	0	1
5	*	野本 建吾	8	0	4	0	3
6		韓 洋	8	0	4	0	1
7	*	森川 正明	15	0	6	3	1
8	*	寺嶋 恭之介	5	1	1	0	0
9		趙 宏松	-	-	-	-	-
10		藤原 勇貴	2	0	0	2	2
11		木村 悠佑	-	-	-	-	-
12	*	古川 統規	18	0	7	4	2
13		安野 慎太郎	0	0	0	0	0
14		田野 司	9	2	1	1	2
15		高橋 虎太郎	-	-	-	-	-
Coach		津田 洋道	-	-	-	-	0
TOTAL			76	4	27	10	12

TEAM B		京都					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	蛭名 涼	22	1	9	1	4
5	*	小林 遥太	10	1	3	1	1
6	*	鈴山 高範	11	1	4	0	3
7		河上 宗平	11	0	4	3	1
8		塩谷 亨	13	2	2	3	2
9		大八木 誉之	0	0	0	0	1
10		高畑 勇吾	0	0	0	0	2
11	*	木村 晃大	17	2	5	1	2
12		平野 哲朗	0	0	0	0	0
13		笹山 貴哉	3	1	0	0	1
14	*	満山 拓末	0	0	0	0	2
15		荒谷 優斗	-	-	-	-	-
Coach		作本 信夫雄	-	-	-	-	0
TOTAL			87	8	27	9	19

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	6:43	-	25:06	32:45		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	4:44	-	37:55	-		



ゲームレポート

\* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、福井#5野本、京都#6鈴山のジャンプボールでゲームスタート。両チーム共にディフェンスはマンツーマン。福井#4占部のターンオーバーから#12古川のレイアップシュートが決まり先制。その後も福井のディフェンスが冴え、スティールからの速攻がよく決まり点差が広がる。たまたま開始5分、京都はタイムアウトを請求。そこから京都は落ち着きを取り戻し、#6鈴山のアウトサイドシュートなどから点差を縮める。福井26-24京都で1Q終了。

2Q、京都が早いパス回しから#4蛭名の3Pやドライブなどで加点し、開始4分で逆転に成功、流れが京都に傾きかける。しかし、残り4分で京都がチームファウル5つ目を犯し、福井がフリースローなどから着実に点数を重ね、福井が再度リード。さらに終盤、#4占部がファウルをもらいながら3Pを沈めるなど、福井が波に乗り連続得点。福井45-36京都と点差を広げ前半を折り返した。

3Q、開始から、福井は#12古川の連続得点などで突き放しにかかるが、ミドルシュートがなかなか決まらず攻めあぐねる。対する京都は、#11木村がアウトサイドシュートからゴールを量産し猛追、残り4分で1点差まで詰め寄る。しかし、福井#7森川がドライブからバスケットカウントを奪うと、そこから福井が連続得点。福井65-60京都の5点差で3Qを終了。

4Q、京都がディフェンスを3-2ゾーンに変えると福井の得点が止まる。ディフェンスから流れを掴んだ京都は、開始3分#8塩谷の3Pで遂に逆転。さらに勢いは止まらず点差が開いていく。途中、福井は#14田野の3Pなどで反撃を試みるが、終盤に再度京都のディフェンスが決まり、京都の連続速攻で勝負あり。76-87で京都が勝利し2回戦へ駒を進めた。

記載責任者	泉田 亮 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	-----------	---------------